



図書館だより



2022年12月号 NO. 397
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16

今年もカレンダーが1枚となりました。1年がアツという間に終わってしまいます。

今年の図書館は、参加人数を減らしながら講座（おさかな講座・ボードゲーム）を開催したり、バードウォッチングもウォーキングロード上で季節ごとに3回実施しました。また、図書館まつりも、規模を縮小し3年ぶりに開催しました。やっぱり、人が集まるっていいですね。終わりの見えないコロナですが、感染対策をしながら図書館としてできることをこれからもしていきたいと思っています。



話は変わりますが、12月22日は冬至です。1年で日照時間が最も短い日です。

昔から冬至には「ゆず湯」に入り邪気を払い、無病息災を願いました。また、「ん」のつくものを食べると運気が上がるといわれています。特に、なんきん（かぼちゃ）、うどん（うどん）、レンコン、ニンジン、金柑、銀杏、寒天、は「ん」が2つついているので、運気も2倍になるとか。その他冬の野菜のネギ、白菜、キャベツ、大根、春菊、小松菜、ホウレンソウは体を温めてくれる野菜です。一緒に食べて、運気・元気を上げて新しい年を迎えましょう。



by チッピー



《 図書館カレンダー 》

■ = 休館日です。

★ 開館時間 : 午前9時30分~午後6時 ★

★ 2022年12月 ★

★ 1月 ★



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

★ YABOOKご紹介 ★



「海の中から地球を考える」プロダイバーが伝える気候危機
児童書 519 タ 武本 匡弘／著 汐文社

日本から遠く離れた太平洋のど真ん中。見渡す限りの海で、ペットボトル、ビニール袋・・・・
私たちが日々使っているプラスチック製品のゴミに出くわします。

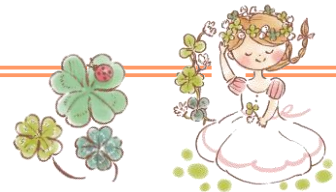
多様な生物に富み、美しいサンゴ礁が生息していた海が、いま、見る影もなく変わり果てています。

プロダイバーとして40年以上もの間、国内外の海に潜ってきた著者が、初めの20年と後半の20年に見て感じた変化を写真とともに分かりやすく伝えてくれました。

消えていくサンゴ礁や海藻類、危機にさらされる海の生き物たちのいまの現状から私たち人間は目をそむけてはいけません。海でいま何が起きているのか、その原因は何なのか、いま何をすべきなのかを考えさせられる一冊です。

by スモモ

図書館員のひといい



いつでもおいで

高校生の頃、放課後はいつも図書室にいた。当時、図書室というところは、教室が苦手な、周りと話しが合わなくて、どことなく肩身の狭い思いをしているような人ばかりが集まっていて、行き場のないはみ出しものたちの居場所だった。

その日、夏のはじめだったと思う。放課後いつものように、図書室の隅の方で本を読んでいたら、突然、(想定)野球部の男子(丸刈り、日によく焼けた肌、肩掛けのスポーツバック)が、ひとりで図書室に入って来た。なんとまあ放課後の図書室にそぐわぬ違和感！珍客の登場に、内心ひどく驚いたことを覚えている。

息をつめて観察していたら、彼は、手近な椅子に座って、ノートを広げ、勉強を始めた。それから、どこかの書架から本を抜き出して、じっと読みだした。

明らかに部活の時間だろうに、こんなところでひとりで何をしているんだろう、とか、たくさん友だちもいるはずなのに、なんで図書室に来るんだろう、とか、疑問が次々に湧いて仕方がなかった。まんじりともせず、夕刻がせまり、会話もなく、各々静かに帰った。

今になって思うに、彼は、きっと、誰にも見せない何かがあった。そのとき、その瞬間、ひとりになる必要があった。学校でひとりになれる場所は限られている。ふと、選んだ先が、図書室だったのだと思う。

今、私は大人になって、まちの図書館にいる。今日も、高校生たちが図書館に来る。もしかしたら、人知れず、つらい思いをした子がいるかもしれない。ひとりで耐えている子がいるかもしれない。だから、図書館は、来たいときに、ちゃんと開いていることが、大事なのだと思う。当たり前のように。

大丈夫？寒くなってきたね。本を読んでも読まなくてもいいよ。いつでも、息をつきにおいで。

by ミカゲ



新着図書の中から、職員がお薦めの本を紹介합니다。



◇「津田 梅子」◇

児童書 289ツ 高橋 うらら/文 講談社

日本で初めての女子留学生となった津田梅子は、明治時代初期、わずか6歳でアメリカに行きました。11年後、梅子が帰国した日本は、まだまだ男女格差は大きく、女子は十分な教育が受けられませんでした。梅子は女子が高いレベルの教育が受けられる学校作りに、いろいろな困難と戦いながら力を尽くします。

生涯女子教育に力を注いだ梅子は、令和6年に発行される新5千円札の肖像にもなっています。

by フィナンシェ

◇「くまの子ウーフのたからもの」◇

児童書 Eクマ 神沢 利子/作 広瀬 弦/絵 株式会社ポプラ社

ある日くまの子ウーフは、山でたからもののどんぐりをたくさんひろいました。ひろったどんぐりをポケットに入れて歩いていると、どこからかうたう声が聞こえてきます。「どんぐりころりんすっとんもひとつころりんすっとん。」ウーフがふり返ると、穴のあいたポケットからどんぐりが次から次へと落ちていました。そして、その先に、大きなふくろを広げたねずみを見つけます。ウーフは、自分で見つけたたからものを返してほしいのですが…。

★この作品は、長く愛されてきた大人気の童話「くまの子ウーフ」の未刊行作品です。ウーフ誕生の原点となったお話を、シリーズが大好きな方も、初めて読む方も、ぜひ読んでみてください。

by れおん

◇「森のなかの小さなおうち」◇

児童書 Eモリ エリザ・ウィーラー/作 ひらお ようこ/訳 工学図書

わたしたちは パパがてんごくに行ってしまったので、引っ越しをしなければなりません。ふかい 森のおくに 小さなこやを見つけて、くらすことになりました。こやは なんだか つめたくて からっぽみたい…。ママがいった。「もしかしたら、たからものが みつかるかもよ」さて…。

★作者のおばあさん一家の実際の経験がモデルになった絵本。大変ながら、一家の楽しい生活が描かれています。

by ビクトリア

◇「わらってよ ピッコ」◇

児童書 Eワラ ルイス・スロボドキン/作 こみや ゆう/訳 福音館書店

イタリアの小さな公園に3頭のロバと1頭のポニーがいました。4頭は、子どもたちを乗せたカートを引き回しているのですが、ポニーのピッコは、なんだかいつも悲しそうです。

ある日、兄弟のアルフレッドとジーナがピッコをよろこばせようとニンジンやリンゴをやったりしますが、どれもうまくいきません。

はたして、子どもたちのひたむきな思いは届くでしょうか…。

by アーキ





『おはなし会』のお知らせ

🎄 図書館おはなし会 🎄
12月7日(水)・14日(水)
午前10時 ~ 10時30分

すべて参加自由・無料です。
場所は1階絵本コーナーです。

🎁 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 🎁
12月10日(土) 午前10時 ~ 10時30分

🎄 クーミンの英語のおはなし会 🎄
12月18日(日) 午前11時 ~ 11時30分

🎁 メリアンさんの英語のおはなし会 🎁
12月24日(土) 午後2時 ~ 2時30分

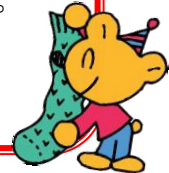
🎄 ぽっぽのおはなし会 🎄
12月21日(水) 午前10時 ~ 11時



『図書館スタンプラリー』開催のお知らせ

★ 12月10日(土) ~ 2月26日(日) ★

期間中に、スタンプを6つ集めた方にプレゼントを差し上げます。
スタンプカードは、カウンターで配布しています。
ぜひ、ご参加ください♪



☆ リサイクル雑誌 差し上げます ☆

図書館では、不要となった雑誌1年分(2019年1月~12月分)を希望者に差し上げます。ご希望の方は、図書館までお申し込みください。

対象者：図書館利用カードをお持ちの方

申込方法：申込用紙に記入の上、図書館窓口へ直接申込み

申込期限：12月25日(日)

※申込用紙は図書館内に設置しています。申込み多数の場合は抽選を行い、当選者にのみ通知します。

